

第26回テーマ展 行田の足袋

行田の足袋は、明和2年(1765)の道中案内に「忍のさし足袋名産なり」と記されたように、江戸時代後半には広くその名が知られていました。明治時代になると、ミシンが導入され大量生産が可能となり、足袋産業を支える銀行や電灯会社なども設立され、生産量が飛躍的に増大しました。最盛期の昭和13年(1938)には年間生産量約8400万足、全国生産の8割を占めたといわれています。

郷土博物館では開館以来、足袋産業に関連する資料の収集を行ってきました。これらの資料が平成27年3月に国登録有形民俗文化財に登録されたことを記念し、江戸時代から現代までの行田足袋の歴史に関するさまざまな資料を展示します。

- ▶ **期 間** 7月9日(土)～9月4日(日)※祝日を除く毎週月曜日と7月19日(火)は休館
- ▶ **開館時間** 午前9時～午後4時30分(入館は午後4時まで)
- ▶ **場 所** 郷土博物館企画展示室
- ▶ **入館料** 【一般】200円【大学・高校生】100円【小・中学生】50円(団体割引あり)※8月31日(火)まで、古代運命館もしくははさきたま史跡の博物館の当日の入館券をお持ちの方には団体料金を適用します。



大正3年の足袋工場

- ▶ **公開講演会「行田の足袋と繊維産業」**
- **日 時** 8月28日(日)午後2時～3時30分
- **場 所** 郷土博物館講座室
- **講 師** 田村均さん(埼玉大学教育学部教授)
- **定 員** 80人(先着順)
- **申し込み** 電話で同館

- ▶ **学芸員による展示解説会**
- **日 時** 7月31日(日)午後2時～3時
- **場 所** 郷土博物館企画展示室
- ▶ **問い合わせ** 同館 ☎554-5911

行田市消費生活センターをご利用ください

消費者を狙った悪質商法の手口は巧妙化しており、全国の消費生活センターには年間100万件近い数の相談が寄せられています。また、行田市消費生活センターには、昨年度1年間に約330件の相談がありました。

消費生活センターには専門の相談員がおり、悪質商法による被害はもちろん、借金、通信販売、インターネットトラブルなど、さまざまな消費者トラブルの解決に向けてアドバイスしています。誰でも悪質商法などの被害に遭う可能性はあります。少しでも「おかしい」「困った」と思うことがあったら行田市消費生活センターにご相談ください。

行田市消費生活センター

- **相談時間** 月～金曜日午前9時30分～午後3時30分(祝日および正午～午後1時を除く)
- **場 所** 地域づくり支援課横
- **電話番号** 内線495または消費者ホットライン188(いやや)

- ▶ **問い合わせ** 地域づくり支援課くらし安心担当(内線252)



消費生活出前講座をご活用ください

消費生活センターでは、悪質商法の最新手口や被害を未然に防ぐ方法などを紹介する出前講座を実施しています。地域の皆さんが集まる場などでぜひご活用ください。

▶ 出前講座メニュー

- ①こんな手口にご用心～高齢者を狙った消費者トラブル多発～
特に高齢者をターゲットにした悪質商法の最新手口とその対策について紹介します。
 - ②インターネットにご用心
インターネットに関連したトラブルの手口とその対策について紹介します。
 - ③身近な人の変化に気づこう！～悪質商法被害防止のテクニック～
日頃から高齢者と身近に接し「見守り」をされている方におすすめの講座です。悪質商法に関する最新の手口や日常の変化から身近な人が悪質商法の被害に遭っていないかを見極めるポイントなどを紹介します。
- ▶ **問い合わせ** 地域づくり支援課くらし安心担当(内線252)

足袋蔵昔体験セミナー

- ▶ **日 時** 8月6日(土)午後2時～7日(日)午後1時
- ▶ **場 所** 忠次郎蔵、牧禎舎
- ▶ **内 容** 忠次郎蔵や牧禎舎に泊まり、昭和初期の子供たちの遊びや生活、影絵大会、うどん打ち、行田の中の昔発見、蚊帳を吊るなどを体験
- ▶ **対 象** 小学4年生～6年生
- ▶ **定 員** 25人(応募者多数の場合は抽選)
- ▶ **参加費** 4,000円
- ▶ **申し込み** 7月4日(月)～15日(金)に参加者氏名(ふりがな)・学校名・学年・保護者氏名・電話番号・住所を明記の上、FAXで足袋蔵まちづくりミュージアム【FAX】552-1010 ※団体申し込みは不可
- ▶ **問い合わせ** 同ミュージアム ☎552-1010(午前10時～午後4時)

埼玉県流域下水道50周年記念「下水道の日」作品コンクール

- ▶ **募集作品** ポスター、書道、作文、標語
- ▶ **募集対象** 【ポスター・書道部門】県内の小学校および中学校に在学する児童・生徒【作文部門】県内の小学校に在学する高学年(4年生～6年生)の児童および県内の中学校に在学する生徒【標語部門】県内に在住・在勤・在学の方
- ▶ **その他** 募集要項は埼玉県下水道局ホームページをご覧ください。
- ▶ **申し込み** 9月14日(火)までに持参または郵送(標語のみEメールでも可)で提出してください。【持参・郵送】〒338-0837 さいたま市桜区田島7-2-23 公益財団法人埼玉県下水道公社経営企画課作品コンクール担当【Eメール】master@saitama-swg.or.jp
- ▶ **問い合わせ** 同公社経営企画課 ☎048-838-8585

昼食(持参)→埼玉古墳群→石田堤→八幡山古墳→郷土博物館解散

- ▶ **対 象** 市内へ転入後3年以内の方とその家族
- ▶ **定 員** 25人(先着順)
- ▶ **参加費** 無料
- ▶ **その他** 郷土博物館学芸員が同行し、案内します。
- ▶ **申し込み・問い合わせ** 電話で同館 ☎554-5911

「歴史のまち行田」探訪ツアー

- ▶ **日 時** 8月7日(日)午前10時～午後3時15分
- ▶ **集合場所** 郷土博物館
- ▶ **行 程** 郷土博物館出発→さきたま史跡の博物館→

「下水道の日」の集い 水循環センター見学会を開催します

見学場所

水循環センター名	所在地	電話	FAX
荒川水循環センター (埼玉県下水道公社 荒川左岸南部支社)	戸田市笹目5-37-14	048-421-5861	048-421-5004
元荒川水循環センター (埼玉県下水道公社 荒川左岸北部支社)	桶川市大字小針領家939	048-728-2011	048-728-2013
小山川水循環センター (埼玉県下水道公社 荒川左岸北部支社小山川支所)	本庄市東五十子382-1	0495-21-7997	0495-25-6831
新河岸川水循環センター (埼玉県下水道公社 荒川右岸支社)	和光市新倉6-1-1	048-466-2400	048-466-2401
中川水循環センター (埼玉県下水道公社 中川支社)	三郷市番匠3-2-2	048-952-3351	048-952-3354
古利根川水循環センター (埼玉県下水道公社 古利根川支社)	久喜市吉羽772-1	0480-22-3819	0480-22-6727

- ▶ **日 時** 9月8日(木)～10日(土)
【午前の部】午前10時～正午
【午後の部】午後1時30分～3時30分
- ▶ **申し込み** 9月1日(木)までに電話またはFAXで希望する施設にお申し込みください。
- ▶ **問い合わせ** 下水道課普及促進担当 ☎564-0303